

研修医ワークシヨップ

in KYOTO

シミュレーションを通じて
仲間と学ぶ

参加費
無料

プログラム

- タスクフォースによる
プレゼン大会
- 災害医療シミュレーション

チーフタスクフォース

加藤 陽一 先生

熊本赤十字病院 救急部
京都府立医科大学 救急医療学教室 客員講師

タスクフォース／若手医師ワーキンググループ

京都府医師会では「次代の良医を京都で育てる」をスローガンに研修医の先生を対象としたイベントを企画・運営してきました。

その一環として、医学的知識もさることながら、隣の病院の研修医がどのような研修を行い、どのような診療を行っているのか感じ合える企画として、例年「研修医ワークシヨップ in KYOTO」を開催しております。

研修医の先生方にとって、非常に役立つ内容となっておりますので、是非ご参加ください！

●昨今の異常気象、近い将来起こるといわれている大規模地震、医療従事者としての人生で避けて通れないのが「災害医療」です。

●日常の診療では経験できない「災害医療」に触れ、“いざ”という時に備えることで医師としてのステップアップを実現できる企画を展開します。

●仲間でありライバルでもある他施設の研修医との混成チームで、災害発生から次々と押し寄せるミッションにチャレンジ。

●ミッションのクリアにはチームワークがカギです。

●上級医が臨床研修医の皆さんに贈る明日から使えるTips満載のレクチャーも。

日時

令和5年 2月12日(日) 午後2時～5時 (予定)

会場

オンライン開催

PCが必要になります。

対象

臨床研修医(1・2年目) ※他府県の先生也大歓迎

共催：京都府医師会・京都府地域医療支援センター

研修医ワークショップ in KYOTO

参加者の声

- ・他施設の研修医との交流が持てたことや、医学知識に関しても増やすことができて良かった。加えて手技等に関してブラッシュアップできたことも良かった。
- ・人と話したり実際に自分達で考えるとまた違った見え方がしたり、印象に残るなと思った。とても楽しかった。
- ・レクチャーがとても分かりやすかったし、楽しく症例を学ぶことができた。シミュレーションを一度体験できたことで、実際に同じ状況になった時に少しは落ち着いて対応できそうな気がする。
- ・災害時の対応については、今までレクチャーを受けたことがなく、とても新鮮だった。いざ京都で災害が起きたらと思うと身が引き締まった。

昨年度のWEB開催での参加者の声

- ・オンラインとは思えない双方向のやりとりができて良かった。
- ・少人数のワークショップで自由に意見を言い合えたことが、他の研修医の考えも共有することができたので良かった。
- ・あまり身近に感じたことのない災害医療というものの姿を垣間見ることができ、医療を担うものとして十分な備えをしていこうと思いが強くなったように感じる。

参加申込はこちら

URL

<https://forms.gle/6wShSxXnE8sn6M196>



メールでのお申込みは、

以下の項目を記入の上、gakujiyutu@kyoto.med.or.jpまで送信ください。

(メールの件名を「研修医ワークショップへの参加希望」としてください)

・ご芳名(フリガナ)

・性別

・所属医療機関

・年次(研修医 年目)

・E-mailアドレス

・携帯電話番号